

会 議 録

名 称	平成30年度 第3回目黒区男女平等・共同参画審議会
日 時	平成30年9月21日（金） 午後6時30分～8時00分
会 場	中目黒住区センター 第5・6会議室
出席者	（委員）岩田、神尾、小出、小林、山田、大本、片渕、福谷、佐藤、石塚 久保、戸口、福田、宮田、森下 （区側）総務部長、人権政策課長、事務局
傍聴者	なし
資料	<p>【事前送付及び持参資料】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 目黒区男女平等・共同参画審議会 答申（案） 資料1 2 平成29年度 男女平等・共同参画に関する事業実績報告（第2回審議会資料） 3 平成30年度 男女平等・共同参画に関する区民意識調査報告（第2回審議会資料） 4 平成28年度 男女平等・共同参画の推進に関する年次報告書 5 目黒区男女平等・共同参画推進計画（平成28年度～平成32年度） <p>【配付資料】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 男女平等・共同参画推進計画 事業実績調査票（見本） 2 第2回男女平等・共同参画審議会会議録
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 平成29年度の事業評価・答申（案）について <ol style="list-style-type: none"> （1）前回審議会の審議を踏まえた修正・追加箇所の確認 （2）修正等の意見交換及びまとめ 3 閉会
会議の結果及び主要な発言	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 平成29年度の事業評価・答申（案）について <ol style="list-style-type: none"> （1）前回審議会の審議を踏まえた修正・追加箇所の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・資料1により、第3章、大項目1～3について担当した委員から追加・修正した箇所を説明した。なお、大項目1について、前回意見の出た「賃金格差」については、「事業としての評価や区として対応することが難しいと判断したので修正をしていない。」と小出委員長から説明。 ・大項目2は、学童保育クラブについて言及してほしいという点について、提言を加えた。また、入所定員より入所児童数が上回っているという文言等については、修正した。 ・大項目3について、中項目3-4の★が増えた理由等を説明。 ・第1～2章、大項目4は修正箇所が無いため説明なし。 ・第3章について、神尾会長から「評価をする上での今後の課題」を説明。→次年度は、この課題について検討したい。

(2) 修正等の意見交換及びまとめ

【第1～3章】

第3章Ⅱ「評価をする上での今後の課題」

- ・審議会が出された意見について、(例えば賃金格差についてなど) 審議会の立場としてどうするのか、とりあげるのか、という意見があったと記載するだけなのか。方向性などを言った方がよいのではないかと。
→審議会の議論の内容を盛り込んで修正することにしたい。

【大項目1】

- ・意見なし

【大項目2】

- ・質問…ランドセル来館事業とは
→事務局から説明。(要綱で実施)
- ・質問…学童保育クラブに関する「条例」の名称を知りたい

(事務局) 目黒区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

(委員) 「入所定員より入所児童数が上回っている」という内容について誤解を招く記載と見受けられるので修正をしたほうがよいのではないかと。
→修正をする。

【大項目3】

- ・意見なし

<その他>

- ・評価をするときに件数がベースになっていると思う。しかし、実際に参加者の意見をフィードバックすべきではないのか。評価のベースをどこかで変えていくほうがよいのではないかと。
- ・区民意識調査の実施の有無は別として、事務局から一部の事業での評価の際に出してもらった所管課保有のアンケートも評価に加えている。次年度からアンケートをとった事業についてはその集計結果も要求するという事も考えられるが事務局はどう思うか。各事業のアンケートの結果を集めることはできるのか。
→(事務局) 所管課の考え等もあるので検討したい。
- ・アンケートは、男女平等の観点からとっているわけではない。直結させることは危険。難しい。
- ・アンケートは、意欲的に参加をした者はよかったという回答が多く、正しい回答を得ることが難しいので評価の核心に近づくのは難しいと感じる。区民全体の男女平等に関する意識をあげる回答をもらえるのがよい。質問項目を作るのは大変難しい。
- ・費用対効果の観点からみると、一生懸命やったことを評価するのは難しい。
- ・100近い事業項目を事業実績と意識調査の書面だけで評価するのは難しい。しかし、評価する事業(講座)について担当課に依頼してアンケートの結果を得られたので参考になった。アンケートは参考になるが、この評価をやっていくには時間的にも労力的にも全部を出してもらって評価するのは困難。

	<ul style="list-style-type: none">・人数が多いというのは評価しがちだが、数だけではなく少なくとも内容がよければ評価をしている。 <p>(小出委員長)</p> <p>10月2日に答申を行う。出席者は小出委員と神尾委員。細かい修正については、最終的に会長に一任して答申としたい。</p> <p>→異議なし。</p> <p>3 今後の予定</p> <p><次年度について></p> <ul style="list-style-type: none">・31年度は計画改定がある。33年度からの新計画に対して準備をする。小委員会が2種類ある。 <p><総務部長から></p> <ul style="list-style-type: none">・政策決定会議に報告し、審議会の答申の内容を踏まえて目黒区の事業を実施していく予定。 <p>4 閉会</p> <p style="text-align: center;">以 上</p>
--	--